

CDPフォレスト質問書

2020年概要：基礎編

CDPジャパン事務局

2020年4月

ウェビナー資料

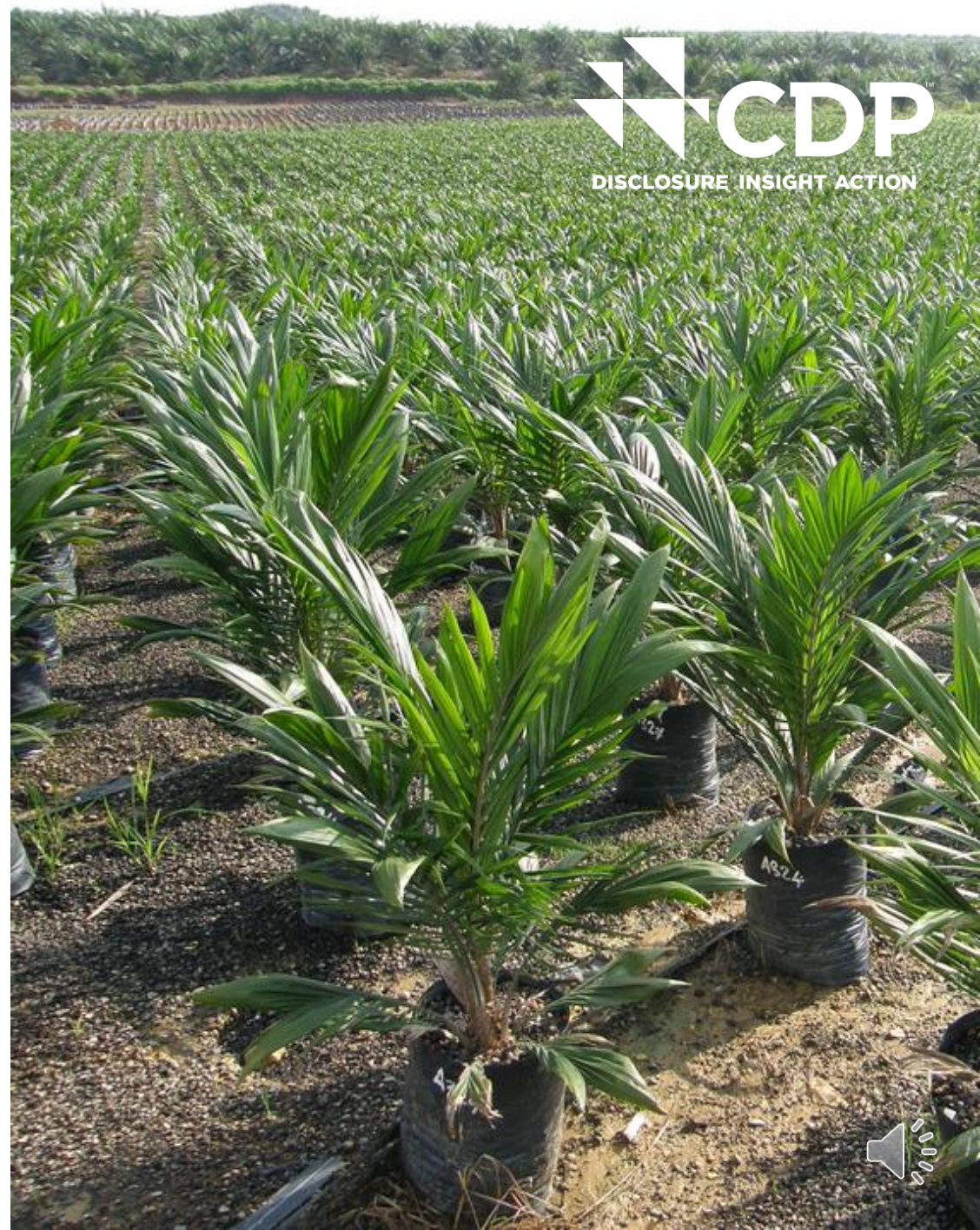


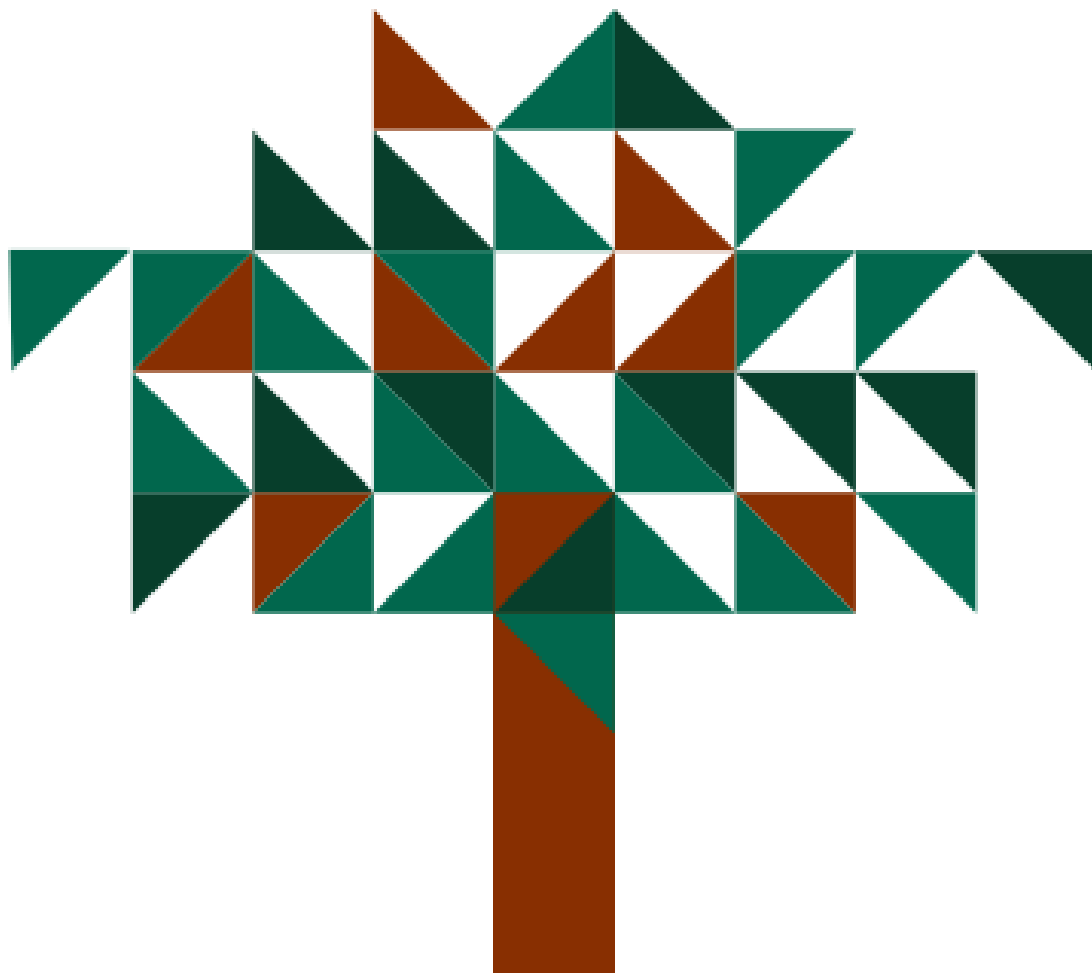
本ウェビナーの内容

▼ CDPとは

▼ CDPフォレストプログラム

▼ 2020年CDPフォレスト質問書





CDPとは

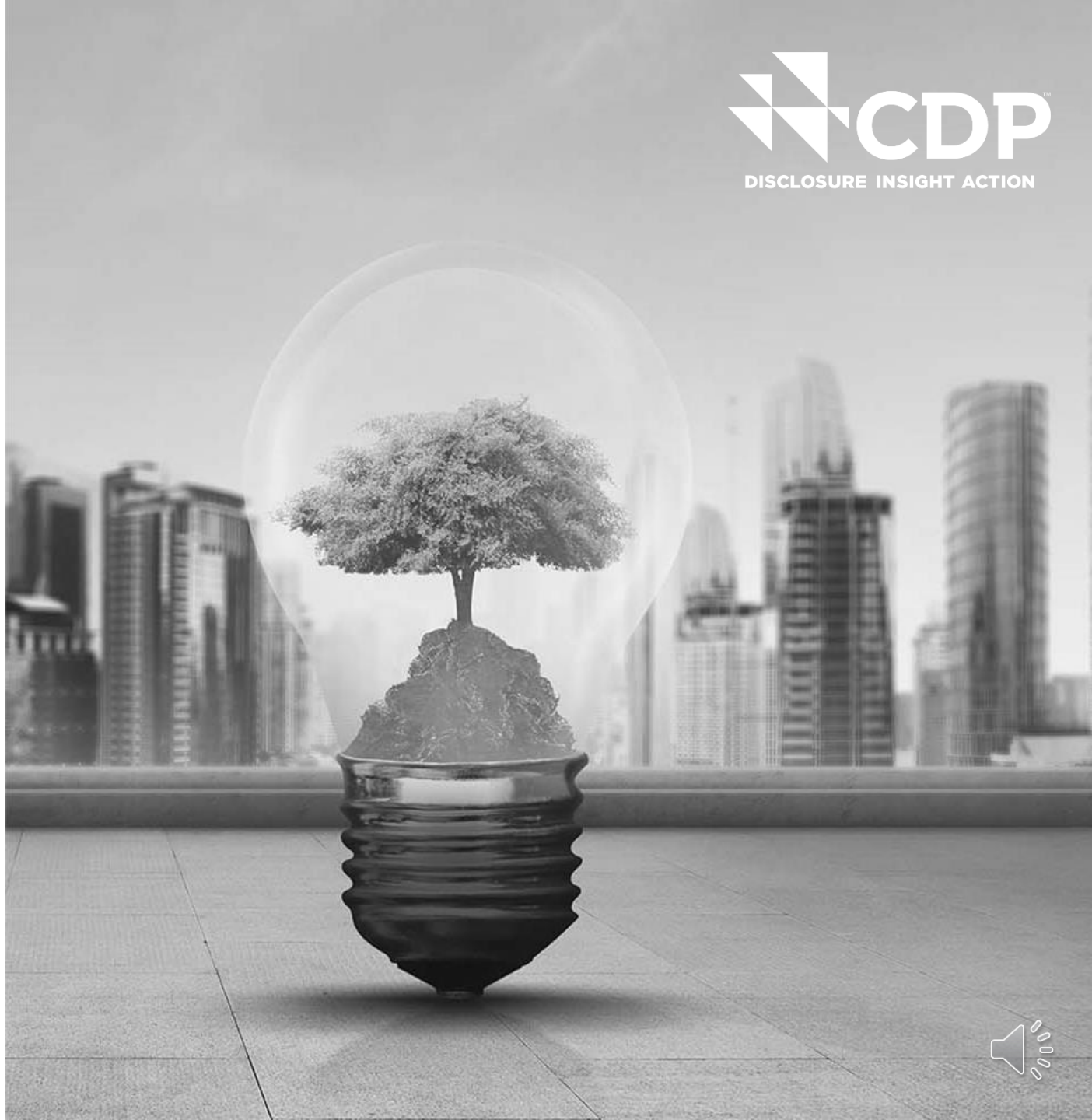


CDPとは - ビジョンとミッション

CDPは、人々と地球のための長期的な経済の繁栄を実現すべく努めています。



情報開示を通じて、投資家、企業、自治体が、自身の環境影響を認識し、真に持続可能な経済を実現すべく行動を起こすよう促しています。



CDPとは



投資家はCDPのデータを投資判断の一つとして使い、
企業はサプライヤー選定基準の一つとして利用。

投資家/企業



企業



回答要請



回答要請



環境への影響やリスク、機会、投資、
戦略を投資家や企業に開示

TCFDに関連した環境情報を記入



CDPとは



投資運用額**106兆ドル**を超える**515**を超える投資家



購買力**4兆ドル**を超える**150**のサプライチェーンプログラムメンバー



8,400社を超える企業からの回答



2019年度にJapan500の**63%**が情報開示



120を超える地域の環境インパクト



CDPとは



投資家/企業

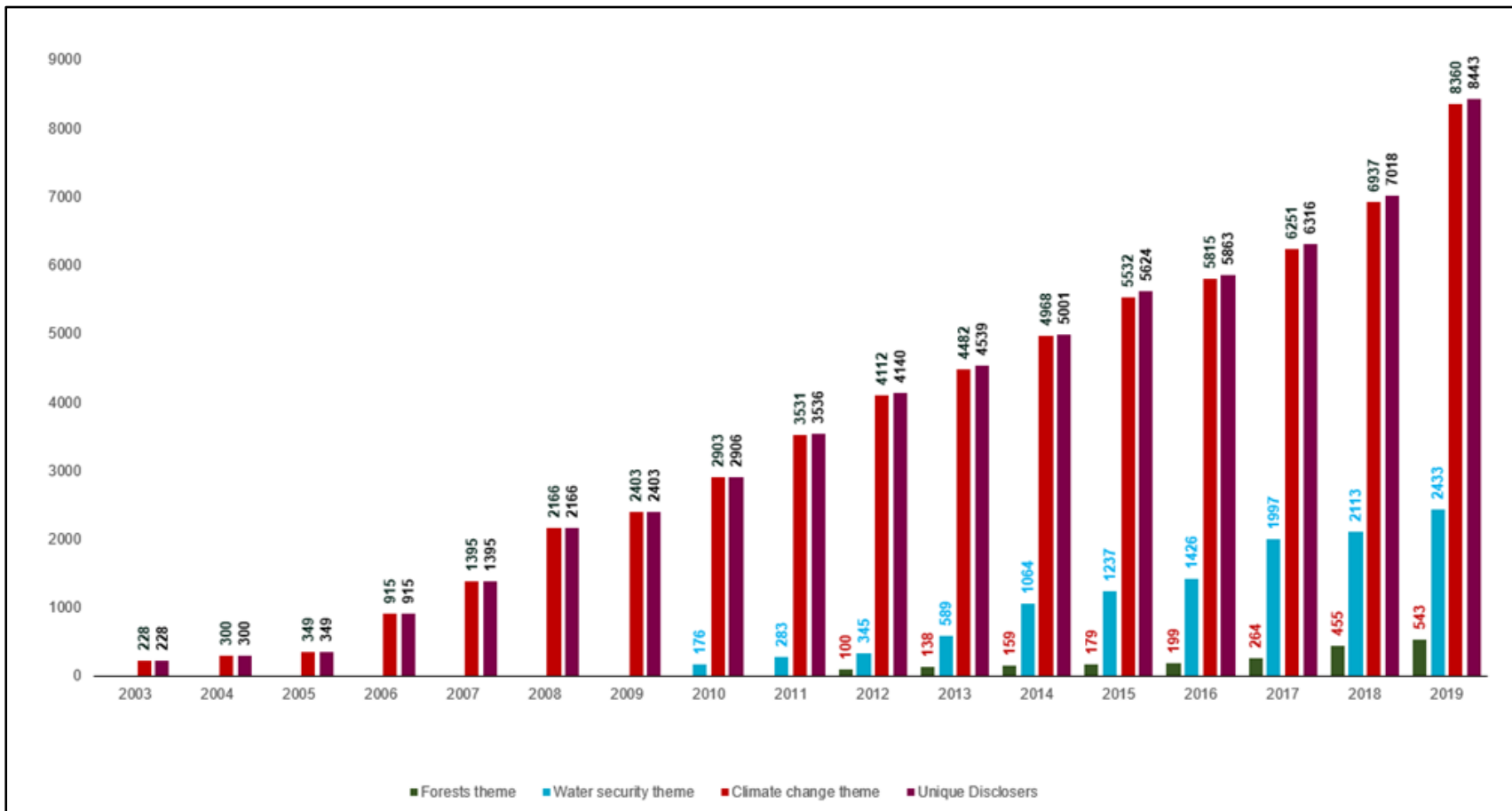
CDPデータの役割

- 主要な株式情報提供サービス
- 投資家は直接 / 間接的にCDPからの情報を活用



CDPとは - CDP質問書への回答状況

2003 - 2019



2019年度は計8,443社
が質問書に回答



気候変動
8360社

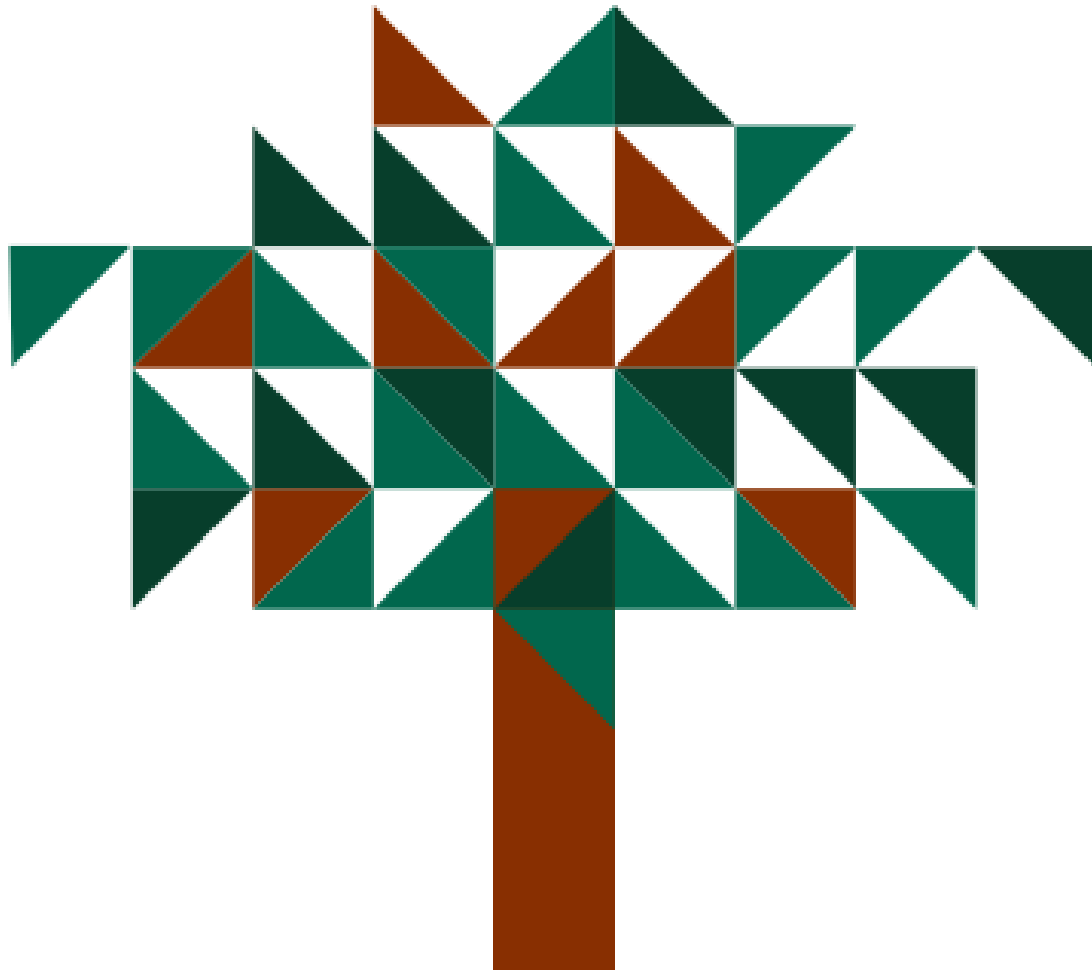


水セキュリティ
2433社



フォレスト
543社



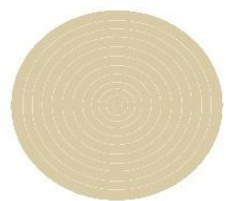


CDP フォレストプログラム



CDPフォレストプログラム

CDPフォレストプログラムの目的



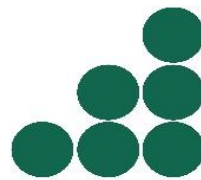
木材



パーム油



牛製品



大豆

- ▼ 森林減少に関するリスクの理解促進
- ▼ 企業のバリューチェーンにおけるコモディティ（商品）に起因する森林減少を排除するためのガイダンス
- ▼ 外部のステークホルダー（投資家・サプライチェーン・顧客等）と企業との効果的なエンゲージメントの促進
- ▼ 企業にとって、活動の確認とより優れた実践を可能にする



対象コモディティ

自社の事業に関連したコモディティのみ回答

＜スコアリング対象＞



木材



パーム油



大豆



畜牛品

＜スコアリング対象外＞

天然ゴム

カカオ

コーヒー

Photo credits: Wood market in Cameroon - Ollivier Girard, CIFOR; Jukwa Village & Palm Oil Production - Ghana oneVillage Initiative; Cattle in Colombia's eastern plains - Neil Palmer, CIAT; Soy bean at Carimagua, in Colombia's eastern plains - Neil Palmer, CIAT



対象コモディティ

- ▼ 木材：建築、家具、包装、ティッシュ、衛生用品、木を原料とする繊維製品、バイオマス等に使用。
- ▼ パーム油：チョコレート、石鹸、化粧品など様々な製品に使用。
- ▼ 大豆：たんぱく質や植物油の最も重要な原料。大豆油粕の殆どは、家畜、養鶏の飼料・餌の原料。中国やインド等において、急激に需要が増加。
- ▼ 畜牛品：家畜農場は南米では森林減少の主な原因。ブラジルの森林減少の要因の75%を占め、世界の富裕層の拡大により、さらに家畜数が増加。
- ▼ 天然ゴム：主に東南アジアの森林を利用した農地拡大の要因。世界市場の7割はタイヤに使用。
- ▼ カカオ＆コーヒー：主に熱帯地方の森林を利用した農地拡大の要因。



2019年CDPフォレストプログラム



▼ 本プログラムには、525を超える投資家が署名し、その資産総額は96兆米ドル

▼ 何故投資家は森林減少に注目するのか？

- ✓ 世界の温室効果ガス（GHG）排出量の15%が森林減少からもたらされる。
- ✓ 森林減少を抑制することで、世界のGHG排出量の最大 3分の1を削減することができる。
- ✓ 世界的な森林減少防止の活動を通じて、2030年までに年間1,000億米ドルの節約が見込める。
- ✓ 2017年上場企業の売上高の9,410億米ドル以上が、森林リスク商品に依存している。

▼ 投資家は、受託者責任を果たすためにも、コモディティ調達によって引き起こされる森林減少や、それに対する企業の取り組みがポートフォリオの価値に及ぼす影響を注視しています。



2019年CDPフォレストプログラム



▼全世界の質問書送付対象企業は1823社

▼上述のうち543社が回答

(木材は291社、パーム油は 146社、大豆は106社、畜牛品は93社、天然ゴムは 27社が回答)

▼日本国内の送付対象企業は152社 (うち42社が回答)



2019年CDPフォレストプログラム



- ▼2019年のAリストに選定された企業はグローバルで8社、日本企業から1社
- ▼2018年に日本企業で初めてAリストに選出され、2019年も引き続きAリストに選出

不二製油グループ本社:パーム油

- ▼A-の評価を得た日本企業数は6社（前年より3社増加）

積水ハウス：木材

住友商事：木材

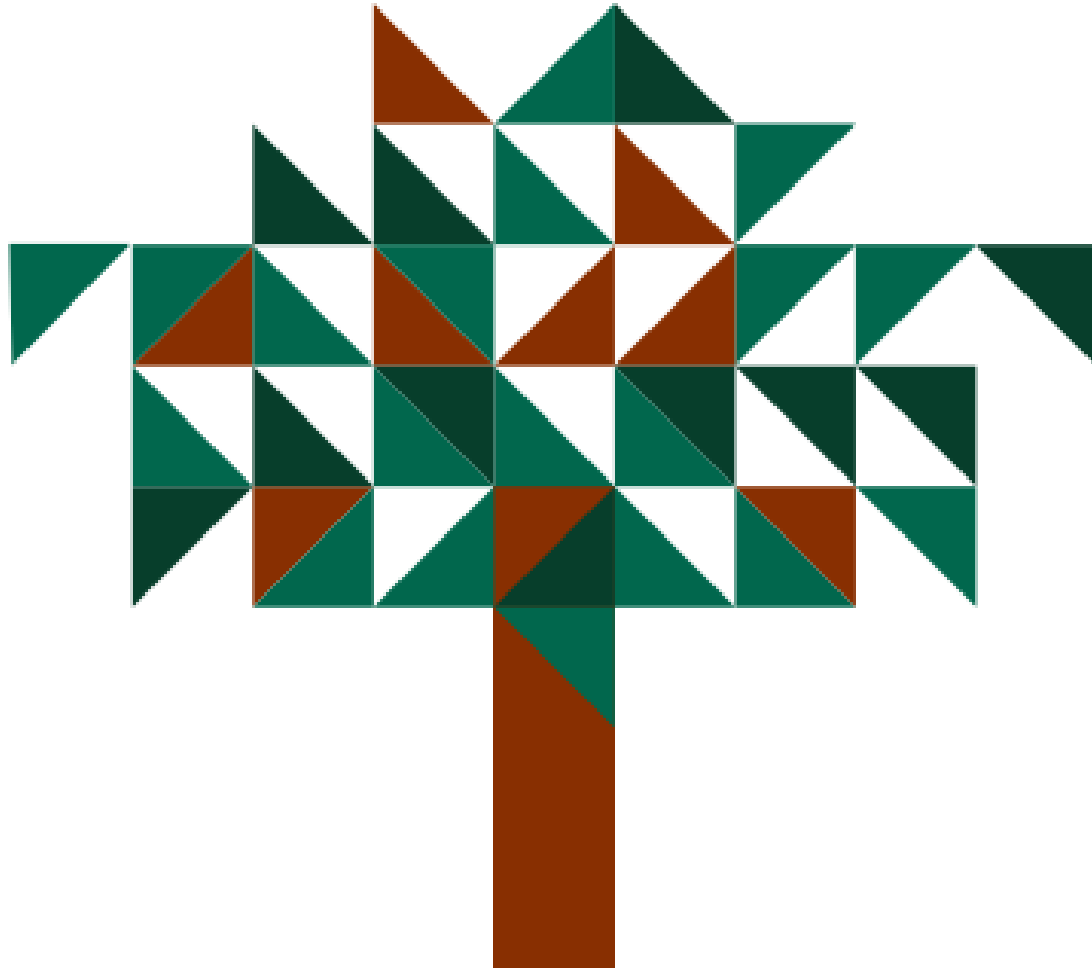
住友林業：木材

大東建託：木材

花王：木材・パーム油

ライオン：木材・パーム油

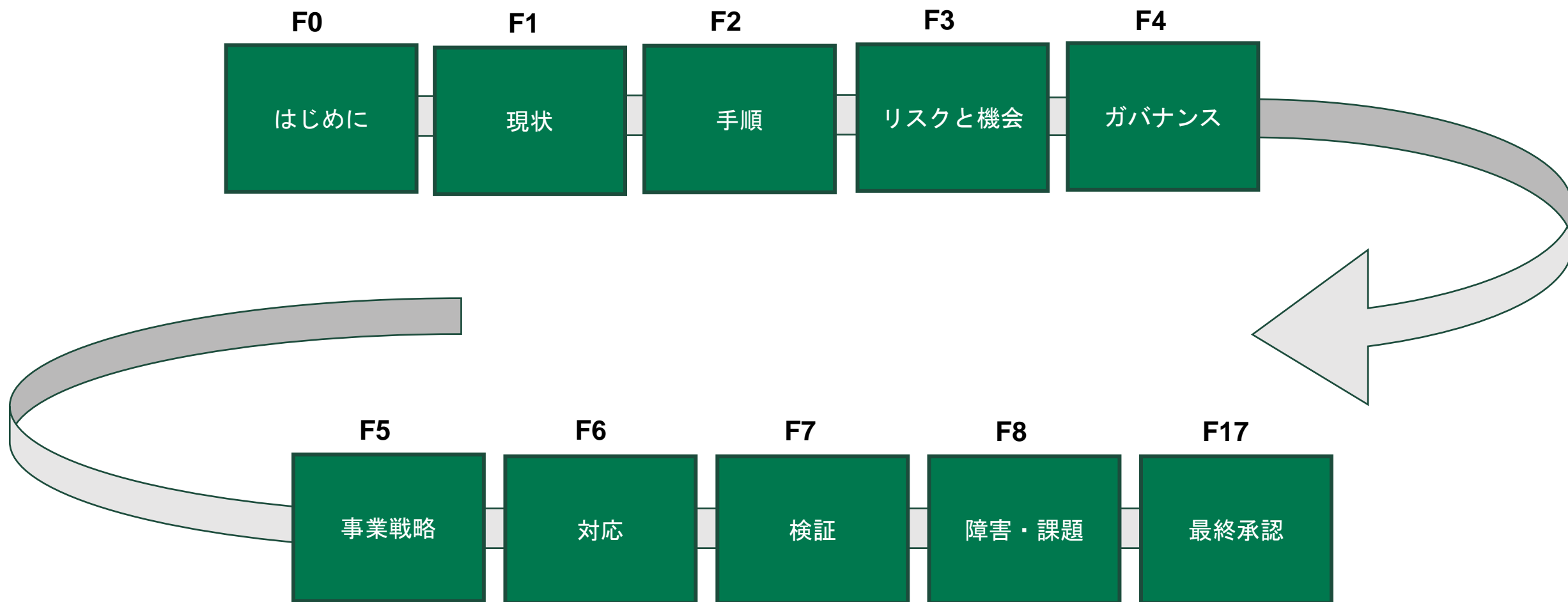




2020 CDP フォレスト質問書



質問書の構成



F0 はじめに

Introduction

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 対応

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 貴社の基本情報

▼ データの報告年

▼ 通貨

▼ 開示・非開示の森林リスク・コモディティの選択及び選択したコモディティのサプライチェーンの段階の選択

▼ 開示に含まれていない直接操業及びサプライチェーンの段階の特定



F0 はじめに

Introduction

F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティを選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最もよく表したサプライチェーンの段階を特定します。

森林リスク・コモディティ	コモディティの開示	サプライチェーンの段階	開示しない場合の説明
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 開示<input type="checkbox"/> 開示していない<input type="checkbox"/> このコモディティは、弊社では生産、調達、あるいは使用されていません。	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 生産<input checked="" type="checkbox"/> 加工<input checked="" type="checkbox"/> 取引<input checked="" type="checkbox"/> 製造<input type="checkbox"/> 販売	文章記入欄[最大2,400文字]
パーム油*			
畜産品(牛)*			
大豆*			
その他 - ゴム			
その他 - ココア*			
その他 - コーヒー*			

*製紙・林業セクター企業には表示されません

重要！ ここで 開示コモディティとサプライチェーンの段階を選択しないと先の質問に進めません！

F0 はじめに

Introduction

F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティを選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最もよく表したサプライチェーンの段階を特定します。

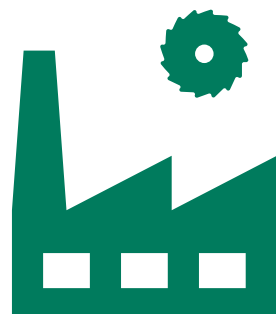
原材料生産

(例：原木の生産)



加工

(例：建材に加工)



取引

(例：原木・建材の取引)



製造

(例：建物の建築)



販売

(例：建物の販売)



原材料の生産地の状況を直接的に把握する

- ・ 原産地のモニタリング
- ・ 原材料生産に関する基準設定
- ・ 生産者との直接協働

原材料の生産地の状況を考慮した調達をする

- ・ コモディティのトレーサビリティ
- ・ 調達基準設定
- ・ サプライヤーとの協働



F0 はじめに

Introduction

F0.5 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分がありますか？

F0.5a 「はい」を選択した場合、開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分を特定

バリューチェーン上の段階	除外対象	除外の詳細	森林関連リスクの可能性	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none">直接操業サプライチェーン	選択肢: <ul style="list-style-type: none">国/地理的エリア事業活動施設	文章記入欄[最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">可能性はない森林関連リスクの可能性はあるが、評価していない	文章記入欄[最大 2,400 文字]
	<ul style="list-style-type: none">特定の製品ライン特定のサプライヤーその他、具体的にお答えください	「不明」を選択される場合には、可能な限り「説明して下さい」などの欄に「なぜそうであるか」の背景を記載。	<ul style="list-style-type: none">森林関連リスクの可能性はあると評価しているが、CDPに開示しない不明	



F1 現状

Current state

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 森林リスク・コモディティへの依存度

F1.1 コモディティの利用法と供給源

F1.2 収益

▼ 測定

F1.3 土地管理

F1.4 生産中ではない土地所有

F1.5 データ収集（生産と消費の量データ）

▼ 有害な影響

F1.6 悪影響



F1 現状

Current state

F1.1 貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

森林リスク・コモディティ	事業活動	コモディティの形態	発生源	供給源の国/地域
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> 表の下に示されているドロップダウンリスト 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> 表の下に示されているドロップダウンリスト 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> 所有/管理している土地 小規模農家 単発契約の生産者 複数契約の生産者 	該当するものをすべて選択: [国/地域のリスト] <ul style="list-style-type: none"> 供給源不明
<div> <div> <ul style="list-style-type: none"> 原材料の栽培・生産 収穫 製粉 粉碎 精製・加工 精製・分別 </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> 輸出/取引 発電用の製造工程への投入物として使用 製品製造への投入物として使用 建設用に使用 製造済み製品の購入 配送/包装 コモディティまたはコモディティを含む製品の小売/販売 食肉処理 [畜産品(牛)のみ] 革なめし [畜産品(牛)のみ] 牛脂の精製 [畜産品(牛)のみ] その他、具体的にお答えください </div> </div> <div> <div> <p>木材製品:</p> <ul style="list-style-type: none"> 広葉樹丸太 針葉樹丸太 製材された木材、ベニヤ、チップ 未加工木材ファイバー パルプ 紙 板材、合板、加工木材 一次梱包材 二次梱包材 三次梱包材 セルロースベースの織物繊維 木質バイオエネルギー 非再販製品(GNFR) <p>パーム油*:</p> <ul style="list-style-type: none"> 生鮮果房(FFB) 粗パーム油(CPO) 粗パーム核油(CPO) パーム核粕(PKM) 精製パーム油 パーム油誘導体 パーム核油誘導体 パーム由来のバイオディーゼル </div> <div> <p>畜産品(牛)*:</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛 牛脂 牛肉 副産物(例:グリセリン、ゼラチン) 皮革 牛脂由来のバイオディーゼル <p>大豆*:</p> <ul style="list-style-type: none"> 未加工の大豆 大豆油 大豆粕 大豆誘導体 大豆由来のバイオディーゼル <p>その他、具体的にお答えください</p> </div> </div>				



F1 現状

Current state

F1.5 貴社は、回答するコモディティの生産量や消費量のデータを収集していますか？

【収集している】場合、F1.5a、F1.5bで詳細を回答

【収集しているが回答しない】または【収集していない】場合には、F1.5c、F1.5dで回答しない理由、収集しない理由を回答

F1.5a 生産量/消費量データを回答してください。

F1.5b 開示したコモディティについて、供給源の国および/または地方の法律管轄区域で調達された生産量/消費量の割合を示します。

F1.5c なぜ、貴社が、開示したコモディティに関する生産量および/または消費量データを開示しないのですか？

F1.5d なぜ、開示したコモディティの生産量および/または消費量データ収集をしていないのですか？

重要！ F1.5で【収集している】と回答した場合、自動的にF1.5aが表示されますが、一つ以上のコモディティを開示する場合には、手動で行を追加する必要があります！



F2 手順

Procedures

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 森林関連のリスクを特定し評価するための手順に関する情報

F2.1 貴社は森林関連のリスク評価を実施していますか。

「はい」の場合、2.1a、2.1b、2.1cで詳細を回答

F2.1a 評価方法の詳細を選択（対象範囲、評価実施の頻度等）

F2.1b リスク評価で考慮される対象（品質、気候変動影響等）

F2.1c リスク評価の対象となるステークホルダー

「いいえ」の場合、2.1dでリスク評価のない背景を回答



F3 リスクと機会

Risks and opportunities

F3.1 貴社の事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある潜在的な森林関連リスクを特定したことがありますか？

F3.1 が「はい」の場合

F3.1a 貴社では、事業に及ぶ財務または戦略面での重大な影響をどのように定義していますか？

記述式回答：

例えば売り上げ1%の増減がどの程度のインパクトを持つのかは、企業ごとに異なります。

リスクの詳細を続く質問で回答するにあたり、影響の閾値を説明することで、データユーザーは御社のリスク・機会をより適切に理解することが可能です。

	情報 開示	認識	マネジメント	リーダー シップ
3.1a	回答 記入	回答 記入	<ul style="list-style-type: none"> - 財務または戦略的影響の定義 - 変化を特定するための手段、測定基準、または指標 - 変化を示す手段、基準、指標の閾値または変化量 - この定義は直接事業、サプライチェーン、またはその両方に適用されるか 	配点なし



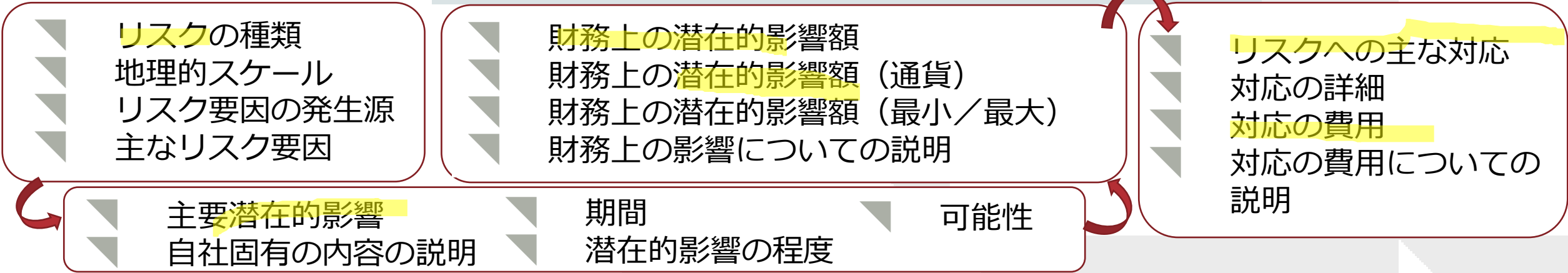
F3 リスクと機会

Risks and opportunities



F3.1が「はい」の場合

F3.1b リスク、およびリスクへの対応の詳細



	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
3.1b	特定項目への回答	特定項目への回答	<p>「自社固有の内容の説明」欄に、特定した影響が自身の操業またはサプライチェーンにどのように影響するかについての自社固有の詳細を記載</p> <p>「対応の詳細」欄に、対応戦略が実施されているか、あるいは、まだ実施されていない場合、対応戦略を実施する予定の時期に関する期間、潜在的リスク要因の再発を防止するうえで、その対応がどの程度効果的だったか/効果的であると予想されるかの説明を記載</p>	<p>「財務上の影響についての説明」の欄に</p> <ul style="list-style-type: none">- 財務影響を計算する際のアプローチ- 計算方法- 計算の前提条件- 財務影響が及ぼされる期間 <p>「対応の費用についての説明」の欄に</p> <ul style="list-style-type: none">- 費用を算出した手法と、その費用は繰り返し発生するものか1回限りのものを説明 <p>（影響額や費用などの数値がない場合は、数値の相対的な評価や定性的な評価を記載）</p>

同じ地域やセクターで活動する企業との区別が明確になるような、自社の具体的な活動・製品・サービスについての詳細を記載。

F4 ガバナンス

Governance

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 取締役会の監督 (F4.1)

▼ 経営責任 (F4.2)

▼ 従業員インセンティブ (F4.3)

▼ 報告 (メインストリームの財務報告書への掲載) (F4.4)

▼ 方針 & 公約 (F4.5、F4.6)



F4 ガバナンス

Governance

F4.1 貴社内で森林関連の問題の**取締役会レベルの監督**がありますか？

「はい」の場合は4.1a・4.1bで詳細を、「いいえ」の場合は4.1cで監督がない理由または今後の変更する予定について回答

F4.2 森林関連の問題に**責任を負う経営層レベル**で最上位の職位または委員会を記入します(個人の名前は含めないでください)。

F4.3 森林関連の問題の管理に関して、経営幹部レベルまたは取締役に**インセンティブを付与**していますか？

F4.4 貴社は、森林関連リスクへの対応に関する情報を直近の**メインストリーム財務報告書**に含めましたか？

F4.5 貴社には、森林関連の問題を考慮した**方針**がありますか？

F4.6 貴社は、直接操業および/またはサプライチェーンからの森林減少および/または森林劣化を削減または排除する公約を掲げていますか？



F5 事業戦略

Business strategy

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

▼ 報告内容 (F5.1)

▼ 戦略の側面（長期的な事業目標、長期的目標達成のための戦略、財務計画）

▼ 森林関連問題の組み込みの有無

▼ 長期的な対象期間（5年～）

▼ 説明（企業固有の説明、事例やケーススタディ）



F5 事業戦略

Business strategy

F5.1 森林関連の問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか？もしそうであれば、どのように組み込まれていますか？

戦略の側面	森林関連問題が組み込まれていますか？	長期的な対象期間	説明してください
長期事業目標	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> ● はい、森林関連の問題が組み込まれている ● いいえ、森林関連の問題について検討したが、戦略的に関連性がある/重要であるとは認識しなかった ● いいえ、森林関連の問題をまだ検討していないが、今後2年以内に実施予定 ● いいえ、森林関連問題について 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> ● 5-10 ● 11-15 ● 16-20 ● 21-30 ● 30年以上 	記述式回答
長期的目標達成のための戦略	同上	同上	
財務計画	同上		

事例やケーススタディを記載する際には**企業固有**の説明で。また、**時間と場所**の両方の情報を入れる。

ケーススタディを記載する際には、以下の**STAR**を含める：

- 1) 状況 (**Situation**): 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (**Task**): 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (**Action**): 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (**Result**): 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

F6 実践

Implementation

2020 モジュール
F0 はじめに
F1 現状
F2 手順
F3 リスクと機会
F4 ガバナンス
F5 事業戦略
F6 実践
F7 検証
F8 障壁と課題
F17 最終承認

▼ 報告内容

▼ 目標

▼ トレーサビリティ: トレーサビリティシステムの詳細

▼ 認証

▼ 制御システム

▼ ブラジル森林法



▼ 法令順守

▼ エンゲージメント: 小規模、サプライヤー、一次サプライヤー以外)

▼ 生態系復元プロジェクト



F6 実践

Implementation

目標

F6.1 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、報告年において有効だった、期限を定めた定量的な目標を持っていたか？

「はい」の場合F6.1aで詳細を回答

F6.1a 目標の詳細と進捗

目標参照番号	第三者認証スキーム	説明してください
森林リスク・コモディティ	開始年	
目標のタイプ	目標年	
定量的目標の詳細	定量指標（絶対数もしくはパーセント）	
関連付けられた誓約	目標（絶対数もしくはパーセント）	
トレーサビリティポイント	目標達成度（%）	

「いいえ」の場合F6.1bで目標がなかった理由を回答

主な理由：選択
詳細の説明：記述式



F6 実践

Implementation

トレーサビリティ

F6.2 開示したコモディティの供給源を追跡、監視するために導入しているトレーサビリティシステムがありますか？

認証

F6.3 開示したコモディティについて第三者認証を採用していますか？認証を受けた生産および/または消費の量と比率を示します。



F6 実践

Implementation



制御システム

F6.4 開示したコモディティについて、森転換および/または森林減少なしの誓約の順守を管理、監視、または検証するためのシステムをお持ちですか？

ブラジル森林法

F6.5 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法の貴社自身の順守および/またはサプライヤーの順守に関するデータを収集しているかを説明します。

法令順守

F6.6 開示したコモディティに関して、森林規制および/または必須規格の貴社自身の順守および/またはサプライヤーの順守を評価しているかどうかを示します。



F6 実践

Implementation



エンゲージメント

F6.7 農業のグッドプラクティスを支援し、森林減少および/または自然生態系の転換を削減するために小規模農家と協力していますか？

F6.8 森林関連方針、誓約、およびその他の要を順守するために、直接サプライヤーの生産能力を支援し、向上させるように直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか？

F6.9 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか？

F6.10 貴社の森林関連方針と誓約の実行を促進するために、社外の活動および/またはイニシアチブに参加していますか？



F6 実践

Implementation

生態系復元プロジェクト

F6.11 貴社は、生態系復元や 保護に焦点を合わせたプロジェクトを支援または実施していますか？

プロジェクトの参照番号	プロジェクト種別	一番の動機	プロジェクトの詳細	開始年	目標年		
選択肢 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト 1 	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> 森林生態系復元 	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> 規制によって義務付けられ 	文章記入欄[最大 2,400 文字]	[YYYY]	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> 2019 年以前 		
今までのプロジェクト 面積(ヘクタール)	目標年のプロジェクト 面積(ヘクタール)	国/地域	緯度	経度	モニタリング頻度	今までの測定した成果	説明してください
数値記入欄[最大小数点第 2 位を用いて、0 ~ 999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 2 位を用いて、0 ~ 999,999,999,999 の数字を入力]	選択肢 [国/地域のリスト]	数値記入欄[最大小数点第 6 位を用いた、90.000000 ~ 90.000000 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 6 位を用いた、180.000000 ~ 180.000000 の数字を入力]	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> 半年に 1 回以上 年 1 回 2 年に 1 回 	該当するものをすべて選択 <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性 炭素隔離 土壌 	文章記入欄[最大 2,400 文字]



F7 検証

Verification

F7.1 貴社のCDP開示で報告した森林情報を検証していますか？

以下の選択肢から選択：

- はい。
- 検証中
- いいえ、しかし今後2年以内に実施することを積極的に検討中
- いいえ、より成熟度の高い検証基準／プロセスをまっている
- いいえ、CDPで報告した森林関連情報は検証していない。そして、検証する予定もない。

7.1が「はい」の場合、F7.1aで詳細を回答

- 検証したデータポイント（記述式回答）
- 検証基準（記述式回答）
- 説明（記述式回答）



F8 障壁と課題

Barriers and challenges

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

F8.1 直接操業やバリューチェーンで森林減少および／またはその他の自然生態系の転換の排除に対する主要な障壁または課題を回答

障壁・課題の種類：以下の選択肢から選択

- サプライチェーンの複雑さ
- 適切なトレーサビリティシステムの欠如
- 認証を受けた原材料の入手が限定的
- 一般の認知度や市場の需要が限られている
- 調達地域での土地所有権と不確かな財産権
- 地方自治体からの規制上の管理と承認の不足
- 人権問題を特定して対処することの困難さ
- 認証基準が存在しないか未成熟
- 認証要件の複雑さ
- 持続可能に製造・認定された製品の費用
- サプライチェーン・エンゲージメントが限られている
- その他

F8.2 組織の森林関連リスクの管理能力を向上させるための方策

主な方策：以下の選択肢から選択

- データ収集およびデータ品質の改善
- 透明性向上
- サプライヤーの認識/エンゲージメントの向上
- 顧客の認識向上
- 認証製品に対する需要増
- ステークホルダーとのエンゲージメントや協力拡大
- コモディティによって引き起こされる森林減少や森林劣化に関する知識向上
- モニタリング システムやトレーサビリティシステムへの投資
- 食品ロスと廃棄物の最小化
- 認証を受けた材料に対する価格プレミアム
- 認証/認証を受けた製品の費用削減
- 認証と持続可能性基準の開発
- 強制力の高い規制
- その他



F17 最終承認

Signoff

2020 モジュール

F0 はじめに

F1 現状

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障害と課題

F17 最終承認

F17.1 回答の最終承認者の役職と対応する職種を回答



Aリスト要件

▼ フォレスト特有

- ▼ 重要な範囲を報告除外対象に含めていない (F0.4, 0.5, 0.5a, 6.2a)
- ▼ 森林減少と森林劣化に関する誓約に対する行動をとっている

▼ プログラム共通

- ▼ スコアがAレベルの閾値をクリアしている。
- ▼ 最低限のリーダーシップポイントを獲得している（内容は各プログラムにより異なる）
- ▼ 投資家要請質問書について回答を一般公開している
- ▼ CDP スコアリングチームによるリーダーシップ関連質問のマニュアルチェック
- ▼ RepRisk による評判リスク問題に関するチェック
- ▼ CDP 各国オフィスのチェック
- ▼ CDP スコアリング運営委員会の承認



ORS操作上の留意点

フォレスト特有



▼ 開示する森林リスク・コモディティとサプライチェーンの段階の選択（スライド19）

▼ここで選択されないと、エラーが出て、先の質問に進めません。

▼全てのコモディティについて、「開示しない」または「このコモディティは弊社では生産、調達、あるいは使用されていません」を選択すると、F17最終承認までジャンプします。

▼昨年回答された企業様は、F0.4にリンクする全ての質問について、昨年の回答がコピーされていますので、今年の回答とするには編集または削除が必要です。

▼ 手動で行を追加する（スライド24）

▼手動で行の追加が必要な質問は質問書を通して23問あります（F1.1, F1.1a, F1.3, F1.4a, F1.4b, F1.5a, F1.5b, F1.5c, F1.7a, F3.1b, F3.1c, F3.2a, F6.1b, F6.2a, F6.3b, F6.4, F6.5, F6.9, F9.1, F9.2, SF1.1a, SF1.1b, SF2.1）。



日本語でのリソース



▼ フォレスト

- ▼ CDPフォレスト質問書のプレビューおよび報告ガイダンス2020
- ▼ CDP フォレスト質問書2020 スコアリング基準
- ▼ 2020フォレストICDPスコアリングカテゴリーとウェイト
(近日中に公開予定)
- ▼ CDPフォレストレポート2019：日本版

▼ プログラム共通

スコアリングイントロダクション2020





CDP ジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



Contact email address:
japan@cdp.net

